

< あなたの治療について >

外科 - PER/HER/DOC - triweekly - 乳腺

今回の治療は、PER/HER/DOC 療法という治療法で、パージェタ（PER）とハーセプチン（HER）とドセタキセル（DOC）という3種類の注射薬を併用して行います。パージェタ、ハーセプチン、ドセタキセルは、いずれも腫瘍の増殖を抑えるお薬です。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~21日目
①	パージェタ (抗がん剤)	点滴 初回 約60分 2回目から 約30分		お休み
②	ハーセプチン (抗がん剤)	点滴 初回 約90分 2回目から 約30分		
③	グラニセトロン デキサート (吐き気止め)	点滴 約30分		
④	ドセタキセル (抗がん剤)	点滴 約60分		

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について（頻度20%以上）

パージェタとハーセプチンとドセタキセルについて

- 白血球減少、好中球減少、ヘモグロビン減少 ●食欲不振、悪心、嘔吐 ●発熱 ●全身倦怠感
- 下痢 ●発疹 ●頭痛 ●疲労 ●脱毛

◎特徴的な副作用について

パージェタにおける

●心不全

「階段や坂道をすこしのぼただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

●Infusion reaction

「発熱、悪寒、嘔気、嘔吐、疼痛、頭痛、咳、めまい、発疹、無力症等」などの症状

ハーセプチンにおける

●心不全

「階段や坂道をすこしのぼっただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

●Infusion reaction

「発熱、悪寒、嘔気、嘔吐、疼痛、頭痛、咳、めまい、発疹、無力症等」などの症状

ドセタキセルにおける

●過敏症状

呼吸困難、気管支痙攣、血圧低下、胸部圧迫感、発疹等

●心不全

「階段や坂道をすこしのぼっただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

●血圧低下

●不整脈、動悸等

「めまい、動悸、胸が痛む、胸部の不快感、脈が跳ぶような感じ」などの症状

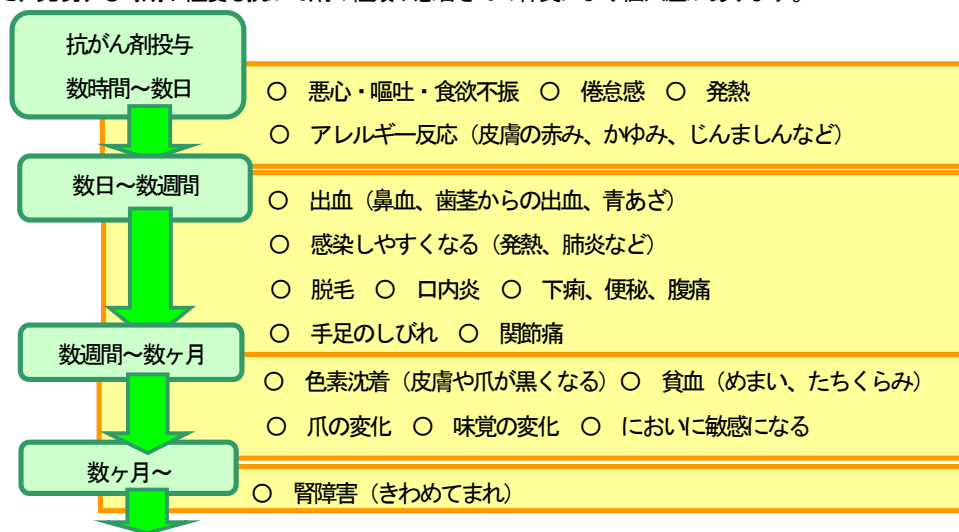
***上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【パージェタ】

〈好中球減少症、白血球減少症〉熱が出る、体がだるい、のどが痛いなどのかぜのような症状

〈Infusion reaction〉さむけ、熱が出る、体がだるい、吐き気、赤い発疹、高血圧、呼吸困難

〈アナフィラキシー、過敏症〉蕁麻疹、かゆみ、全身のかゆみを伴った発赤、発疹、目や口唇周囲の腫れ、目や口唇周囲の膨脹、ふらふら感、冷汗、意識障害、呼吸困難、動悸、息切れ、しゃがれ声、けん怠感、紅潮、発汗、熱がでる、さむけ、しびれ

〈間質性肺疾患〉熱や咳が出る、呼吸困難、息切れ、頭痛、体がだるい

【ハーセプチン】

〈心障害〉息切れ、胸がどきどきする、脈が乱れる、呼吸困難、息苦しい、胸が痛い、胸の圧迫感、胸が苦しい、咳が多くなる、ピンク色の泡のような痰がでる、寒気がする、冷汗が出る、手足がしびれる、発疹、じんましん、むくみ、かゆみ、発熱、尿の量が減る、立ちくらみ、血圧低下

〈アナフィラキシー様症状〉寒気がする、冷汗が出る、手足がしびれる、呼吸困難、息苦しい、息切れ、息をする時にヒューヒュー音がする、気管支がけいれんする、胸が痛い、胸が苦しい、脈が速くなる、咳や痰が出る、ピンク色の泡のような痰がでる、発熱、立ちくらみ、低血圧、めまい、耳鳴り、頭痛、頭重、意識がぼんやりする、意識がなくなる、からだの力がぬげる、発疹、じんましん、かゆみ、顔がはれる・むくむ、顔・舌・のど・くちびるがはれる

〈間質性肺炎・肺障害〉熱や咳が出る、痰が出る、息切れ、呼吸困難、頭痛、体がだるい

〈白血球減少〉〈好中球減少〉熱が出る、体がだるい、のどが痛いなどのかぜのような症状

〈血小板減少〉

〈貧血〉

〈肝不全×黄疸×肝炎×肝障害〉食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、体がだるい、おなかが張る、吐き気、おう吐、昏睡、手足・関節の痛み

〈腎障害〉尿が出にくくなる、尿が出ない、血尿が出る

〈昏睡〉昏睡、意識がなくなる

〈脳血管障害〉頭痛、吐き気、おう吐、意識がもうろうとする、片側の手足の麻痺、強いしびれ

〈脳浮腫〉手足のふるえ、筋肉痛、口が渇く、意識がぼんやりする、意識がなくなる、混乱する、呼吸の回数が増える

〈敗血症〉さむけ、ふるえを伴う急な高熱、脈が速くなる、呼吸困難、関節の痛み、血圧が下がる

【ドセタキセル】

〈骨髄抑制〉発熱、寒気がする、のどが痛む；口の中に白い斑点ができる；手足に赤い点（点状出血）または赤いあざ（紫斑）ができる、出血しやすい（歯ぐきの出血・鼻血など）；水のような下痢；口内炎；通常の生活をしていてだるさが続く、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる、顔色が悪いといわれる

〈ショック症状、アナフィラキシー様症状〉顔が赤く熱くなる、皮膚が痒い、蕁麻疹が出る、唇や舌・手足がしびれる、くしゃみ・咳が出る、気分が悪い、心臓がドキドキする、尿意や便意を生じる、喉が詰まる、息が苦しい、目の前が暗くなる

〈黄疸、肝不全、肝機能障害〉したいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい、黄褐色尿（泡まで黄色い）、淡黄色便；時間や場所を以前より多く間違える、物を取り違える；手が震える；十分睡眠をとっているのにいつもうとうとしてしまう；いつもおなかが張っている、すこし食べるとすぐおなかがいっぱいになる、発熱（38～39℃）、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる

〈急性腎不全〉顔や手足がむくむ、からだがかたくなる、尿の量が減る、尿が赤みを帯びる、発熱、発疹、お腹が痛む、吐き気、下痢、節々が痛む、体重が減る

〈間質性肺炎、肺線維症〉息切れがする、動いたときに息苦しくなる；発熱；から咳がでる；体がだるい；体重が減る

〈心不全〉階段や坂道をすこしのぼただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む

〈播種性血管内凝固症候群〉出血しやすい、血が止まりにくい

〈腸管穿孔、胃腸出血〉急にお腹が痛む、お腹が張る感じ；嘔吐、吐いたものに血が混じる；便が黒くなる

〈虚血性大腸炎、大腸炎〉お腹の痛み；頻回の下痢、水のような下痢、トマトジュースのような下痢

〈イレウス〉便秘、頑固な便秘；だんだん強くなる腹部膨満、吐き気

〈急性呼吸促進症候群〉息が苦しい、せきができる、不安になる、呼吸がはやくなる、脈がはやくなる、汗が出る、体重が減る

〈急性膵炎〉急に胃のあたりがひどく痛む、食欲がない、吐き気

〈皮膚粘膜眼症候群〉発熱；関節が痛い；皮膚が斑に赤くなる、水膨れができる；くちびる、口内がある；目が充血する

〈中毒性表皮壊死症〉発熱；発疹、皮膚が赤くなる、皮膚が焼けるように熱く感じる、皮膚の痛み、水膨れができる；口内がある

〈多形紅斑〉全身の皮膚に痒みや部分的に痛み・熱感を伴った赤いまだらのいろいろな形の発疹や水泡ができる

〈心タンポナーデ〉胸の痛み、息苦しさ、動悸、むくみ、胸部の締めつけられる感じ

〈肺水腫〉息苦しい；座っている方が呼吸が楽である；呼吸回数が増える；胸が痛い、悪心・嘔吐、咳込む、脈が速くなる、ピンク色の泡状の痰が出る

〈浮腫、体液貯留〉足がむくむ、顔面やまぶたが腫れぼったくなる；体重が急激に増加した、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる

〈心筋梗塞〉急な胸の強い痛み、胸が締めつけられるような感じがする、胸が圧迫されるように苦しい

〈静脈血栓塞栓症〉頭痛、特に繰り返す頭痛；気分不快、吐き気、嘔吐；ろれつが回らない；視野の変化、ものが見えにくい；突然起こる腹痛、ひどい腹痛、腹痛が続くとき；鋭い胸の痛み、息切れ；そけい部や足の痛み、特にふくらはぎの痛み；手足の脱力、むくみ、しびれ

〈感染症〉発熱、喉が痛む、咳が出る、痰が出る、口内炎、発疹、水膨れができる、尿の回数が増える、尿が濁る、排尿時に痛みを感じる

〈抗利尿ホルモン不適合分泌症候群〉むくみのない短期間で体重増加、頭痛；吐き気、嘔吐；めまい；全身のだるさ

◎ **上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。